

## コンピュータ活用研究部会

## FMで活用するICTシステム

コンピュータ活用研究部会 部会長 **天神 良久** てんじんよしひさ株式会社ケー・デー・シー 中日本支店長  
認定ファシリティマネジャー

コンピュータ活用研究部会では、「FM 領域で係わる ICT 新技術の調査」、「CAFM システムの活用事例の調査」、「Eco・Lcc 削減を可能にする環境配慮型 ICT 新技術の調査」研究を行っています。

ICT の活用は、産業構造を大きく変えています。2015 年から「IoT: Internet of Things」という言葉が新聞紙上でも掲載されだしてきました。IoT は、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在するさまざまな物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うことです。FM の現場でも、大型の機械などにセンサーと通信機能を内蔵して稼働状況や故障箇所、交換が必要な部品などを製造元がリアルタイムに把握できるシステムなどが考案されだしています。当フォーラムでは、「FM で活用する ICT システム」の出版(2017 年4 月予定)の執筆者に、担当の ICT 関連の内容を説明してもらい、現在利用できる FM での ICT 活用を考察してもらいました。

出版の目的と執筆手法。【目的】コンピュータ活用研究部会で行っている、調査・研究に関して、時の話題のテーマを見つけ、専門家として具体的な解説をし、

JFMA 会員および、一般 FM ユーザに「FM で活用する ICT システム」に関する情報を広く提供する。

【執筆手法】テーマ・サブテーマを決め、サブテーマ毎、部会員を中心に講師を選定し、月1 回の部会で開催している勉強会にて発表してもらう。サブテーマは 11 個として、発表後各サブテーマで 5 ~ 20 ページ程度の執筆を担当してもらう(本文は 150 頁程度)。本の副題としては「建物の企画から維持メンテナンスまで、業務のポイントごとに活用する ICT システムを具体的に説明」としました。各章の構成は、

- 1 章：政府で公開している GIS システム
- 2 章：地方公共団体における ICT を活用した「ファシリティマネジメントと新地方公会計との連携
- 3 章：オフィスサーベイシステムの考え方とロジック
- 4 章：建物竣工時に作成する長期修繕計画
- 5 章：DB システムを利用した長期修繕計画
- 6 章：建物台帳・図面管理システム
- 7 章：屋内 3D 地図の簡易生成手法と空間情報の利活用
- 8 章：建物維持管理業務における ICT の活用
- 9 章：建物保全とデータベース
- 10 章：建物保全コールセンターシステム
- 11 章：アセットマネジメントと不動産管理クラウド

フォーラムでの発表は 9 名の共同執筆者が登場してにぎやかに行われました。各章約 5 分での発表だったためダイジェストのみの紹介となりましたが、講演のタイトルが良かったのか、会場は満席となり盛会な発表会となりました。当フォーラムでの発表資料は JFMA 調査研究部会ホームページに掲載します。また本のご購入をご検討ください。



後列左から：白岩和浩、杉山光郎、木村圭介、大田武、阿部順一  
前列左から：森本卓雄、小木曾清則、天神良久、秋山克己



「FM で活用する ICT システム」表紙